

漁海況速報

No.31

平成18年8月11日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ① 本県中北部海域の50海里より灘側に波及している親潮系冷水の勢力は先週よりやや弱まり、21~22℃台が広く分布している。
- ② 黒潮系暖水の勢力は先週並だがやや昇温し、本県中南部海域では12海里、中北部海域では50海里より沖合に23~24℃台が広く分布している。
- ③ 定地水温は、小名浜は平年並み、大熊は平年より2℃低く、松川浦は平年より1℃高い。

見通し(1週間)

- ・ 表面では弱い親潮系冷水の波及がみられるでしょう。

平成18年北西太平洋サンマ長期漁海況予報

・ 独立行政法人水産総合研究センター東北水産研究所とりまとめにより8月10日に発表されました標記予報をお知らせします。

— 今後の見通し (2006年8月~12月) —

対象海域 北西太平洋(道東沖から常磐沖)

対象漁業 サンマ棒受網

(1) 来遊量: 大型魚の来遊量は昨年を下回るが、中・小型魚を含めた全体の来遊量は昨年と同程度からやや上回る。

(2) 魚体: 大型魚が多いものの、昨年より中・小型魚の割合がかなり高くなる。

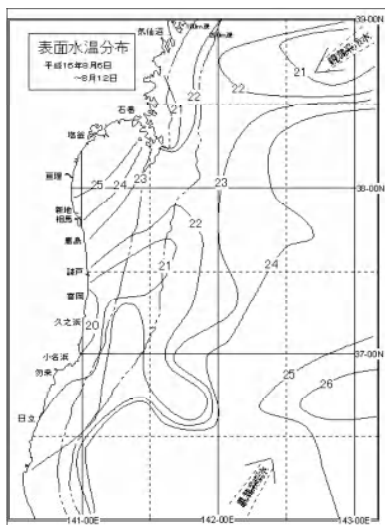
(3) 漁期・漁場: 大型船出漁後の漁場は、色丹島南東沖に形成される。三陸沖への南下は平年並で、漁場形成は9月下旬から10月上旬になると予測される。

※大きさは肉体長(≡体長)で表示し、便宜的に大型魚(29cm以上)、中型魚(24~29cm未満)および小型魚(20~24cm未満)と区分した。

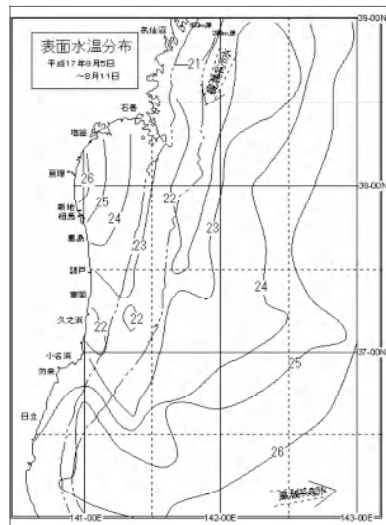
※来週の漁海況速報は休刊となります。

次号は8月25日発行です。

平成16年同期



平成17年同期



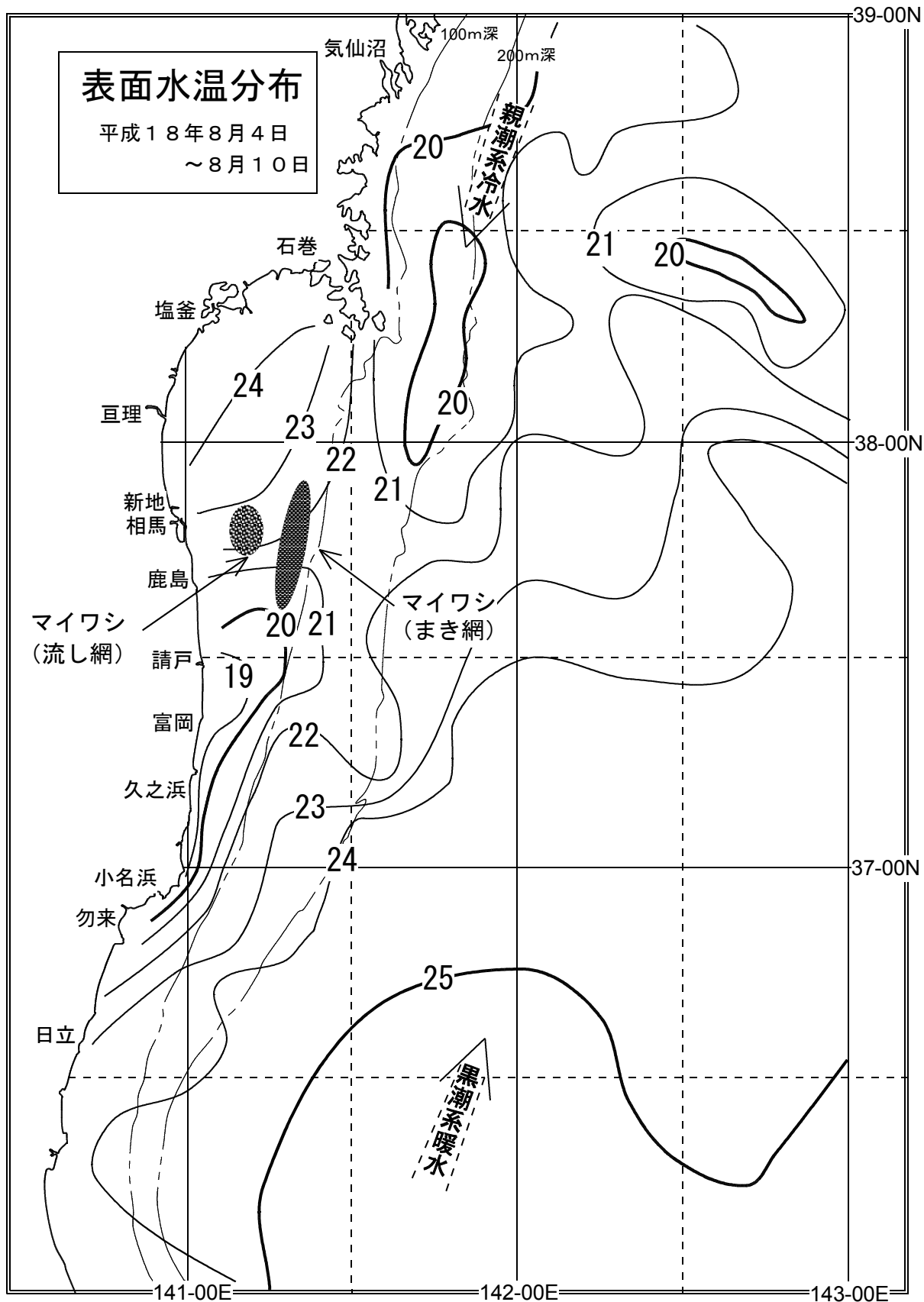
定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
8/4	21.0	19.5	21.2	18.6
8/7	20.5	19.3	25.6	18.1
8/8	20.4	17.6	26.3	18.8
8/9	19.7	17.2	25.7	19.3
8/10	19.4	19.0	23.0	20.2

広野沖: 37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成18年8月4日
~8月10日



漁海況速報

No.32

平成18年8月25日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

① 請戸沖距岸5海里付近に20℃台が分布する以外は目立った低水温はみられない。

② 黒潮系暖水が広く分布し、本県中北部海域では距岸30海里、南部海域では10~20海里より沖合に25~27℃台が広く分布している。

③ 定地水温は、小名浜は平年より1℃高く、大熊は平年より2℃低く、松川浦は平年より2℃高い。

見通し(1週間)

・ 現状並みの海況で推移するでしょう。

平成18年度第3回東北海区海況予報

8月9日に独立行政法人水産総合研究センター東北区水産研究所とりまとめにより発表されました標記予報をお伝えします。

<<今後の見通し(2006年9~11月)>>

- (1) 近海の黒潮の北限位置は、かなり南偏~やや南偏(35°20'N~36°20'N)で推移する。
- (2) 黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並で推移する。
- (3) 色丹島南東沖合と常磐沖の暖水塊は北東に、三陸沖合の暖水塊は西に移動する。
- (4) 親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏(39°N以北)で推移する。
- (5) 親潮第2分枝の張り出しは、平年並(39°N以北)で推移する。
- (6) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(143°10'E付近まで)で推移する。

<<福島県沿岸の見通し(2006年9~11月)>>

沖合からの暖水波及が弱まるとともに親潮系冷水の小規模な南下がみこまれ、水温は高め基調が解消し平年並み付近で推移するとみこまれる。

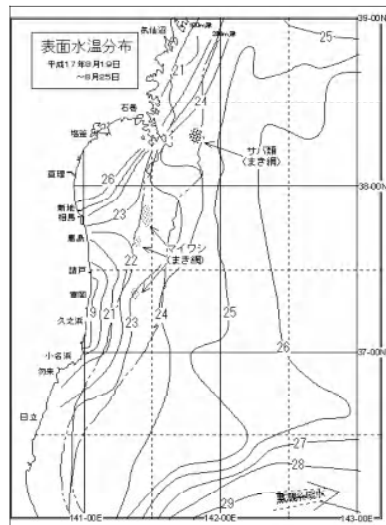
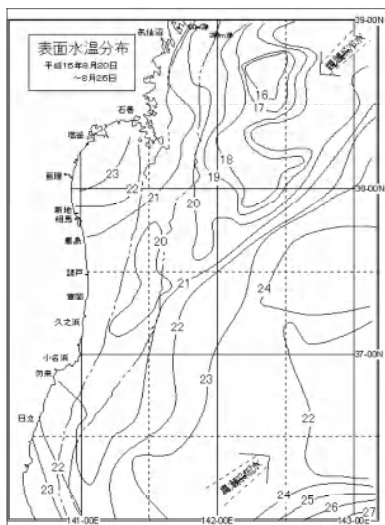
平成16年同期

平成17年同期

定地・定点水温の推移(℃)

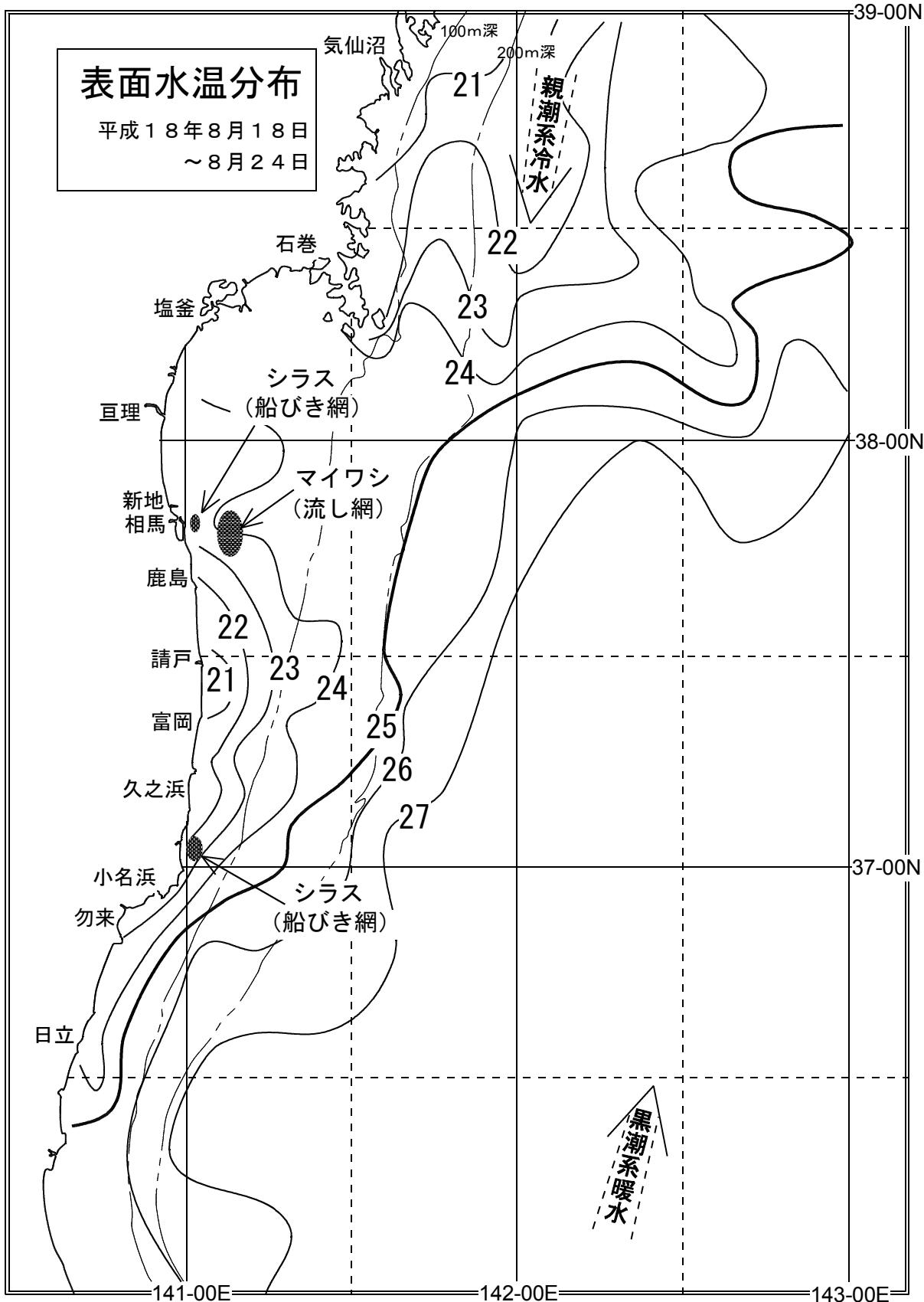
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
8/18	22.4	21.3	23.4	23.1
8/21	21.3	18.8	27.1	23.5
8/22	22.8	18.6	25.6	23.5
8/23	22.2	19.1	25.0	23.4
8/24	21.7	20.2	25.2	—

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km沖)



表面水温分布

平成18年8月18日
～8月24日



漁海況速報

No.33

平成18年9月1日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

①久ノ浜～請戸沖の距岸5海里付近に20℃台が分布する以外は目立った低水温はみられない。

②黒潮系暖水の勢力は先週より弱まり、本県沖25海里より沖合に24～25℃台が広く分布している。

③定地水温は、小名浜は平年並み、大熊は平年より2℃低く、松川浦は平年より1℃低い。

見通し(1週間)

・現状並みの海況で推移するでしょう。

定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
8/25	22.2	20.7	25.4	20.5
8/28	24.4	20.4	23.5	22.5
8/29	22.5	18.7	22.1	22.2
8/30	21.6	19.4	21.4	22.3
8/31	20.1	20.5	23.4	22.3

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

漁況情報(マイワシ、請戸・原釜2港集計)

・8月末までの流し網漁業によるマイワシの水揚げ状況は以下の表のとおりです。(1箱はおよそ6kg入り)

数量(箱数)	金額(千円)	平均単価(円/箱)	高値(円/箱)
21,153	123,731	5,849	17,744

・マイワシの水揚げは6月中旬頃から始まり、以降近年にない量の水揚げがみられています。水揚げ1日の平均単価は水揚げの多くなった7月末頃にかけて4,000円付近まで下落しましたが、8月に入り漁模様が不安定なことから3,000～12,000円程度と大きく変動して推移しております。

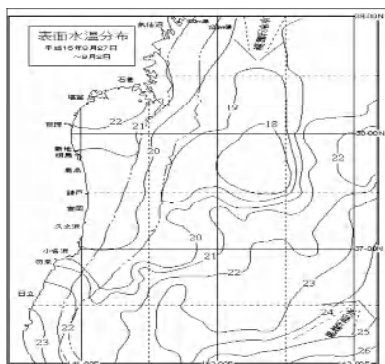
漁況情報(シラス)

・8月末までのシラスの水揚げ状況は以下の表のとおりです。

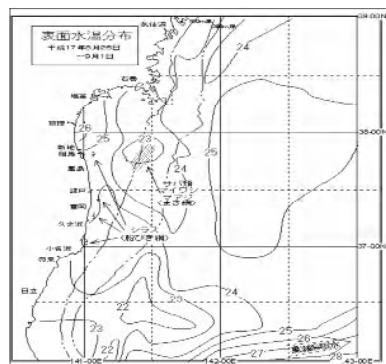
	いわき	相双	県全体
平成18年			
数量(kg)	8,628	33,252	41,880
金額(千円)	3,713	13,068	16,782
単価(kg/円)	430	393	401
平成17年			
数量(kg)	95,097	228,297	323,394
金額(千円)	23,684	58,044	81,728
単価(kg/円)	249	254	253
過去5年平均			
数量(kg)	60,620	124,873	185,494
金額(千円)	20,019	37,593	57,612
単価(kg/円)	330	301	311

・5～6月に水揚げがみられて以来8月中～下旬に再びまとまった水揚げがありましたが、県全体の数量で昨年比13.0%、過去5年平均と比較して22.6%と低調に推移しています。

平成16年同期

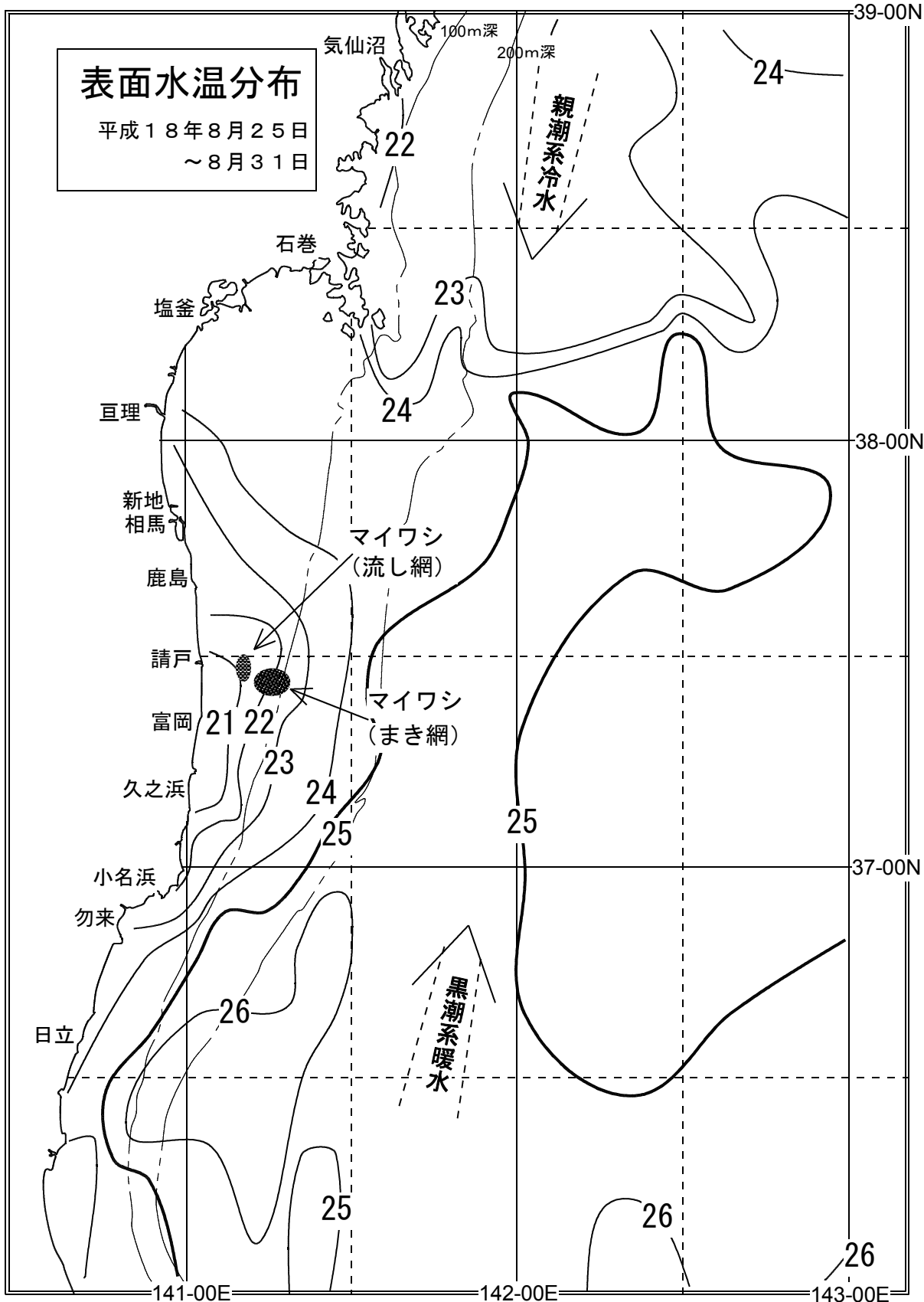


平成17年同期



表面水温分布

平成18年8月25日
～8月31日



漁海況速報

No.34

平成18年9月8日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

①親潮系冷水の波及はみられず、小名浜・勿来沖のごく灘側に22℃台がみられる以外は、本県沖に目立った低水温はみられない。

②黒潮系暖水の波及は先週並みで、本県沖は広く23~25℃台に覆われている。

③定地水温は、小名浜、大熊は平年並み、松川浦は平年より1℃高い。

見通し(1週間)

・現状並みの海況で推移するでしょう。

※「水産試験場参観デー」開催のお知らせ※

福島県水産試験場の一般開放、「水産試験場参観デー」を下記のとおり開催します。多くの方々の来場をお待ちしております。

開催日: 10月7日(土) 9時~15時

場所: いわき市小名浜下神白、水産試験場

内容:

1 研究成果、水産知識の展示コーナー

2 体験・試食コーナー

実際に見て触って等の体験をすることができます。

体験コーナー

- ・ちびっ子お魚教室
- ・海藻おしば作り
- ・ロープワーク
- ・ホシガレイ稚魚放流体験

試食コーナー

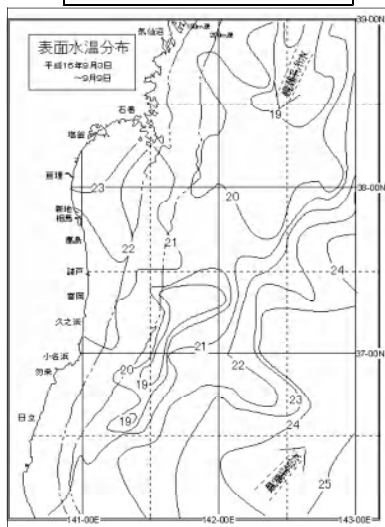
- ・さんまつみれ汁
- ・さけのチャンチャン焼き
- ・フライドポーン

その他、いわき市漁協からホッキ飯、ホッキの串焼き、イカ焼きなどの販売があります。

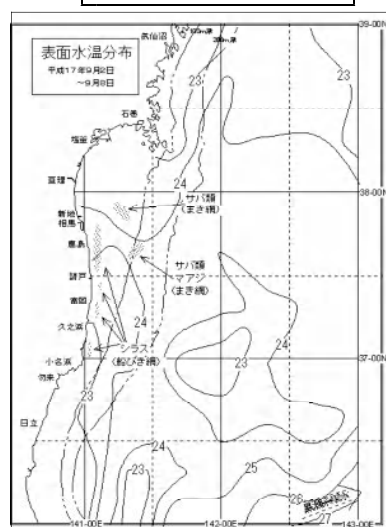
3 調査船「拓水」公開

本県沿岸で活躍する調査船が見学でき、装備品の水中ロボットで海中探検ができます。

平成16年同期



平成17年同期



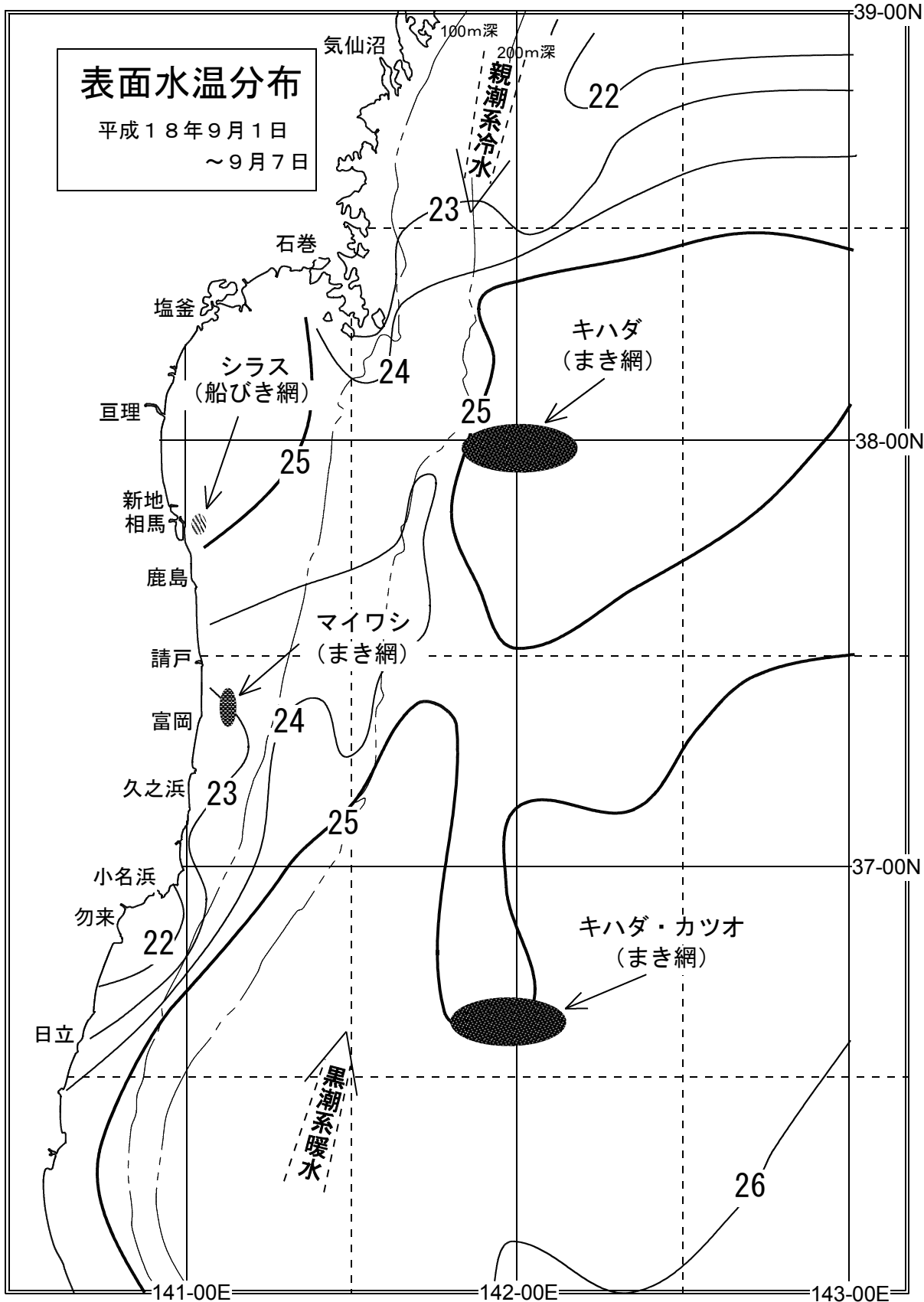
定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
9/1	21.6	20.7	23.5	22.3
9/4	20.8	22.9	24.9	22.8
9/5	21.6	23.0	25.8	22.8
9/6	22.3	22.9	24.6	22.1
9/7	22.4	23.2	23.7	22.1

広野沖: 37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成18年9月1日
～9月7日



漁海況速報

No.35

平成18年9月15日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の波及はみられず、本県沖に目立った低水温はみられなくなった。
- ②黒潮系暖水の波及は先週並みで、本県沖は広く23~25℃台に覆われている。
- ③定地水温は、小名浜は平年より1℃高く、大熊・松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

- ・現状並みの海況で推移するでしょう。

漁況情報(底びき網の初漁 9/1~9/7の集計)

・9月1日に解禁となりました底びき網漁の、解禁当初の漁模様をお知らせします。

漁法別・地区別水揚げ状況(9月1日~7日)

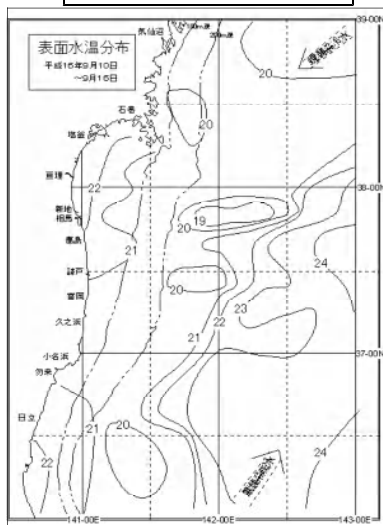
			H17年	H18年	対前年比
沖底	いわき	数量(kg)	33,142	26,718	80.6%
		金額(千円)	9,147	7,817	85.5%
	相双	数量(kg)	104,117	135,204	129.9%
		金額(千円)	38,005	48,293	127.1%
小型底びき		数量(kg)	31,873	32,588	102.2%
		金額(千円)	9,789	11,758	120.1%
合 計		数量(kg)	169,132	194,510	115.0%
		金額(千円)	56,941	67,867	119.2%

※勿来、小名浜、小名浜底曳、四倉、久之浜、相馬原釜の集計値

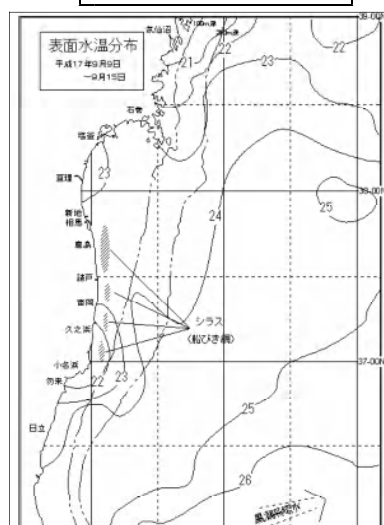
小型底びき網では、マガレイが水揚量の30%を占めました。沖合底びき網は、いわきではヤナギダコが29%を占め、相双ではマガレイが37%、チダイが10%を占めていました。

相双の沖合底びき網は、マガレイ、チダイ、マアナゴ等の増加により、水揚量・金額とも増加し、小型底びき網は、マガレイ、マコガレイの単価上昇、ヒラメの増加により、水揚げ金額が増加しました。しかし、いわきの沖合底びき網は、台風による休漁が影響して水揚量・金額とも減少しました。

平成16年同期



平成17年同期



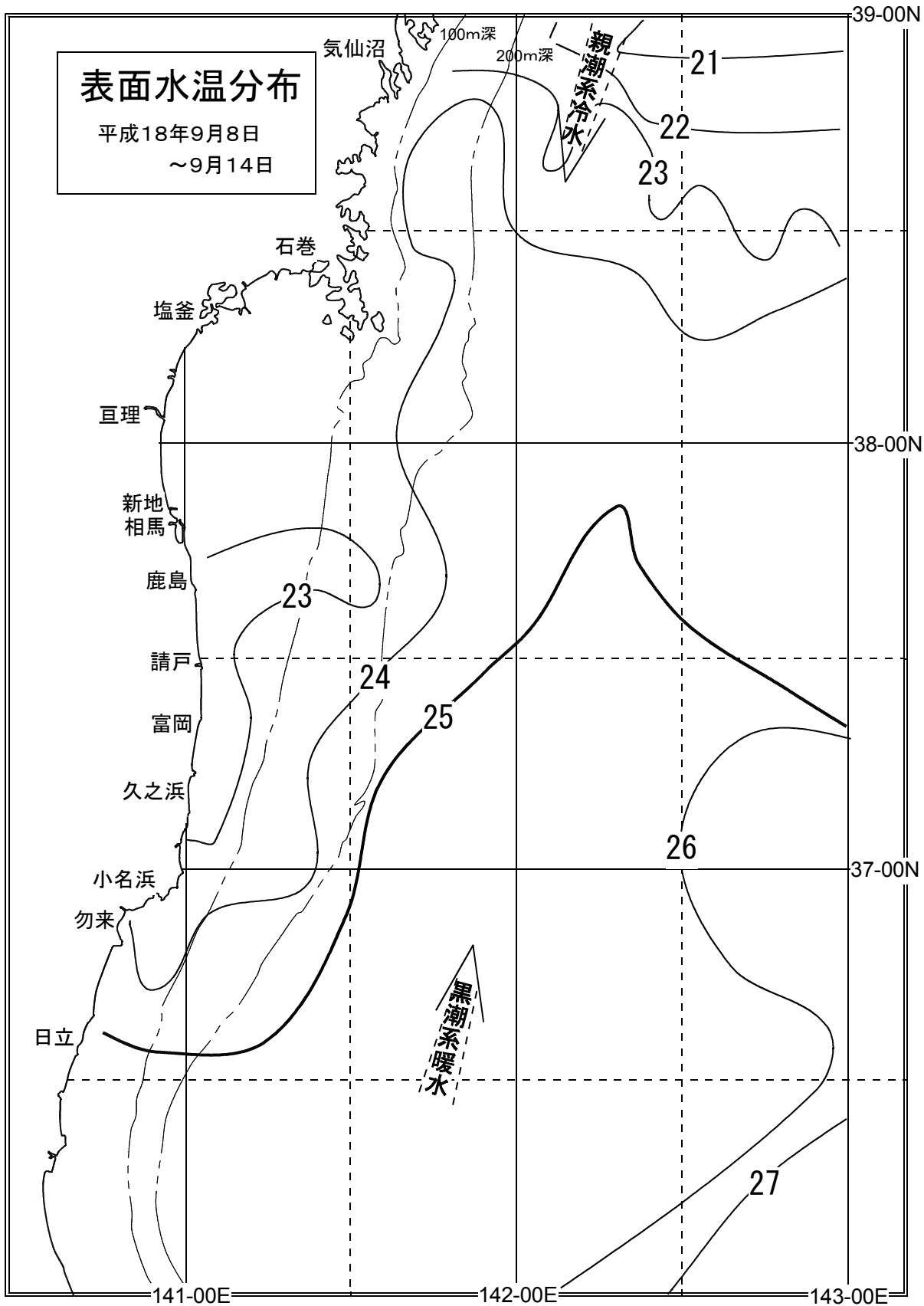
定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
9/8	23.2	23.7	24.3	23.0
9/11	24.2	22.0	24.3	22.5
9/12	23.3	23.3	23.4	24.4
9/13	23.2	22.6	22.3	23.3
9/14	22.6	23.2	21.2	23.2

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成18年9月8日
~9月14日



漁海況速報

No.36

平成18年9月22日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の波及はみられず、本県沖に目立った低水温はみられない。
- ②黒潮系暖水の本県沖への波及はやや弱まり、本県沖は広く23~25℃台に覆われている。
- ③定地水温は、小名浜は平年より1℃高く、大熊・松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

- ・現状並みの海況で推移するでしょう。

平成18年9月海洋観測結果

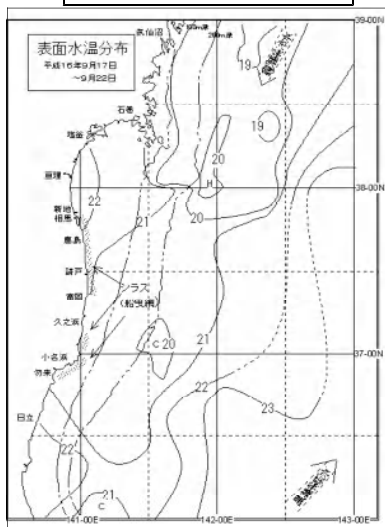
- ・9月11~13日と20~21日に本県調査船「いわき丸」にて行いました観測結果をお知らせします。
- ・観測された水温の50海里沖までの平均とその前年差、平年差は以下の表のとおりでした。

(単位:℃)		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	24.67	+0.10	+1.68
	富岡	23.79	-0.77	+1.06
	鵜ノ尾	23.57	-1.14	+1.20
	全体	24.01	-0.60	+1.31
100m深	塩屋	12.71	+2.86	+0.99
	富岡	13.79	+3.45	+2.06
	鵜ノ尾	12.64	+1.90	+0.71
	全体	13.05	+2.82	+1.28

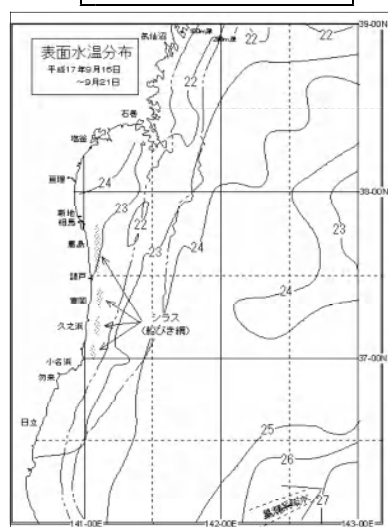
(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

- ・塩屋埼、富岡沖では距岸30海里、鵜ノ尾埼沖では50海里より沖合で黒潮系暖水の波及が顕著でしたが、塩屋埼、富岡沖では距岸25海里付近、鵜ノ尾埼沖では50海里より灘側の50m深に浅に弱い親潮由来の低塩分水の波及もみられました。距岸50海里内の平均水温は平年よりやや高めでした。

平成16年同期



平成17年同期



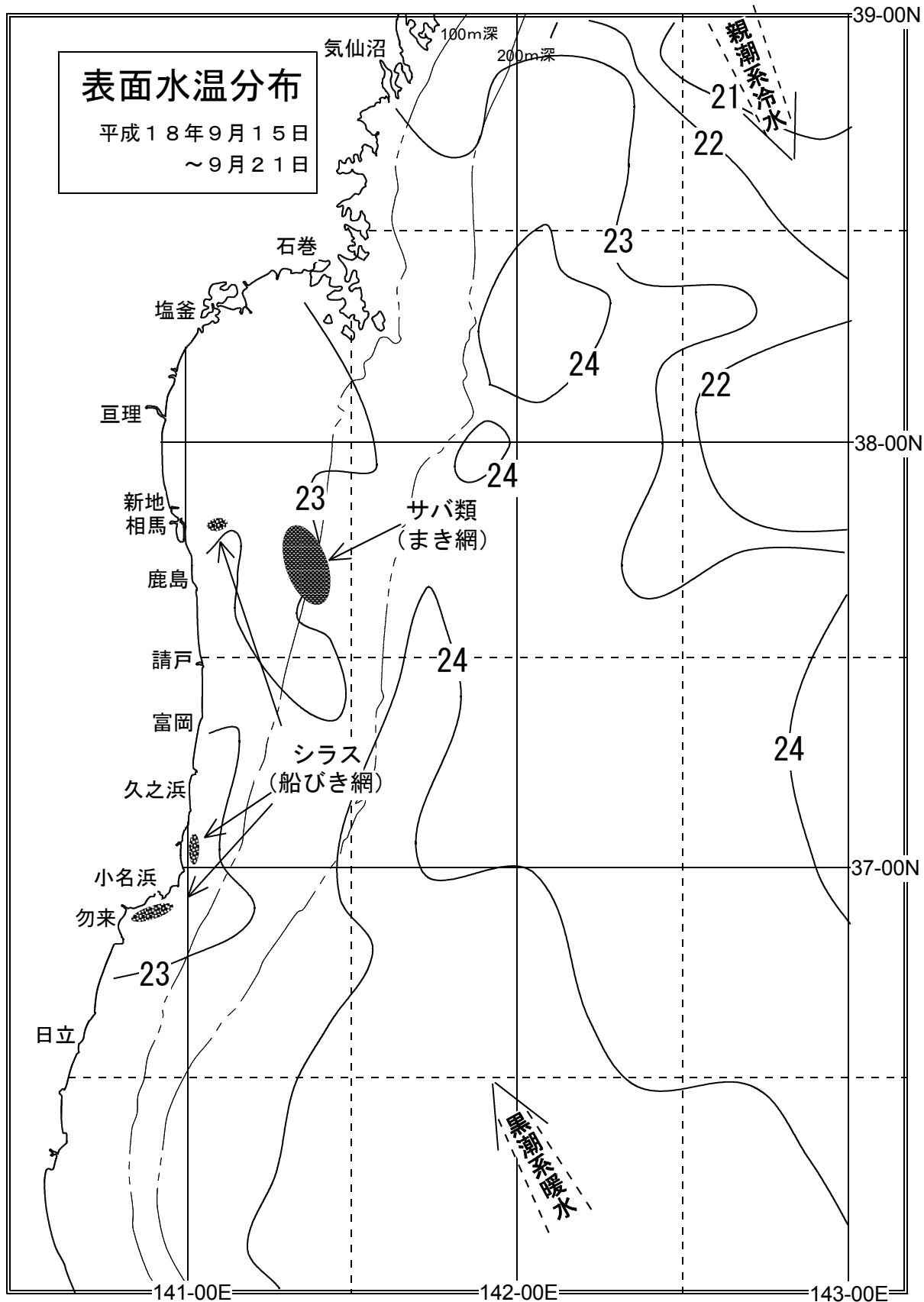
定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
9/15	22.2	22.7	20.5	23.2
9/18	—	—	—	23.1
9/19	23.1	22.6	22.8	21.8
9/20	22.6	22.3	22.9	22.3
9/21	22.1	23.0	22.8	22.4

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成18年9月15日
～9月21日



漁海況速報

No.37

平成18年9月29日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の波及はみられず、勿来～小名浜周辺に21℃台がみられるほかは目立った低水温はみられない。
- ②黒潮系暖水の本県沖への波及は先週より顕著になったが、水温は先週並みで本県沖は広く22～24℃台に覆われている。
- ③定地水温は、小名浜・大熊は平年より1℃高く、松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

- ・現状並みの海況で推移するでしょう。

漁況情報(シラス)

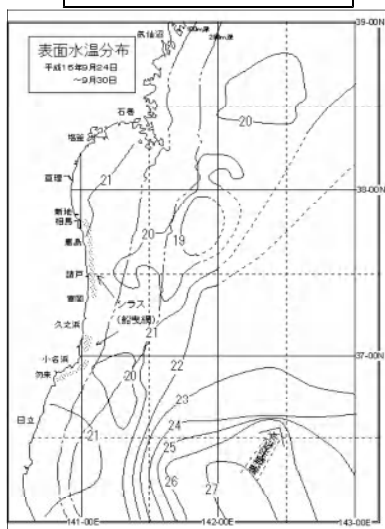
・福島県沿岸のシラス漁業の水揚状況をお知らせします。9月27日までの水揚げは以下の表のとおりです。

表 9月の各地区ごとのシラス水揚量等

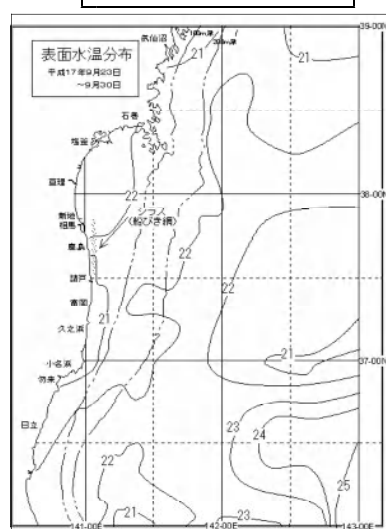
	いわき	相双	県内合計
平成18年			
数量(kg)	30,547	77,640	108,187
金額(千円)	17,995	37,249	55,244
単価(円/kg)	589	480	511
平成17年			
数量(kg)	159,598	604,796	764,394
金額(千円)	43,227	185,312	228,539
単価(円/kg)	271	306	299
過去5年平均			
数量(kg)	53,451	264,179	317,630
金額(千円)	20,659	98,305	118,964
単価(円/kg)	387	372	375
平成18年/過去5年			
数量(kg)	57.1%	29.4%	34.1%
金額(千円)	87.1%	37.9%	46.4%
単価(円/kg)	152.4%	128.9%	136.3%

・8月中旬以降水揚げがみられ、9月末に向かって漁模様は上向いている様子ですが、9月の水揚げ量は過去5年と比較していわきで5割、相双で3～4割程度と低調に推移したため、過去と比較すると単価は高めになっています。

平成16年同期



平成17年同期



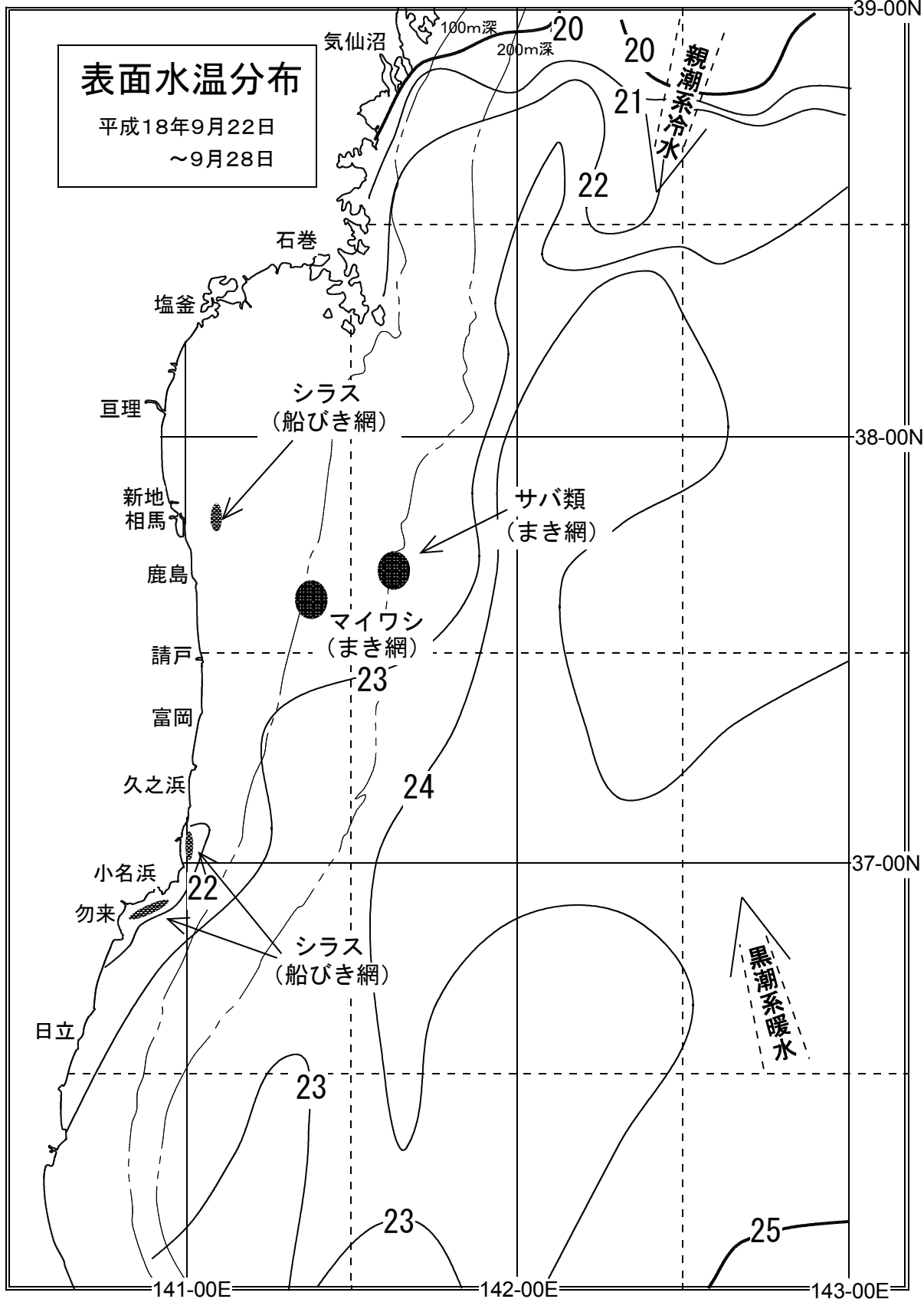
定地・定点水温の推移(℃)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
9/22	22.2	22.6	22.6	23.3
9/25	22.0	22.3	21.2	22.5
9/26	22.0	22.1	21.7	22.5
9/27	21.8	22.4	19.7	22.5
9/28	21.9	21.7	20.4	22.6

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

表面水温分布

平成18年9月22日
～9月28日



漁海況速報

No.38

平成18年10月6日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の波及による顕著な低水温はみられない。
- ②黒潮系暖水の本県沖への波及は先週並だが水温はわずかに降温し、本県沖は広く22~23℃台が分布した。
- ③定地水温は、小名浜・大熊は平年より1℃高く、松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

- ・現状並みの海況で推移するでしょう。

平成18年10月海洋観測結果

- ・10月2~5日に本県調査船「いわき丸」にて行いました海洋観測結果をお知らせします。
- ・観測された水温の50海里沖までの平均とその前年差、平年差は以下の表のとおりでした。

(単位:℃)		観測値	前年差	平年差
表面	塩屋	22.64	+1.17	+1.79
	富岡	23.09	+1.43	+2.71
	鵜ノ尾	22.54	+0.99	+2.63
	全体	22.76	+1.20	+2.38
100m深	塩屋	12.81	+0.85	+0.43
	富岡	13.96	+1.99	+2.19
	鵜ノ尾	14.33	+1.94	+2.08
	全体	13.57	+1.50	+1.43

(観測値は50海里内の平均値、平年値は過去30年の平均値)

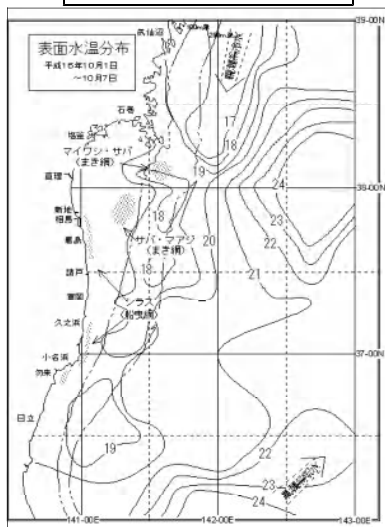
- ・各定線とも表面から50m深付近までは鉛直混合が進み、21~22℃台が広く分布しました。50~150m深付近を中心に黒潮系暖水の高塩分水が広く分布しておりましたが、富岡沖の距岸5海里および塩屋崎・鵜ノ尾崎沖の20海里付近より灘側では親潮由来とみられる低塩分水がみられました。

定地・定点水温の推移(℃)

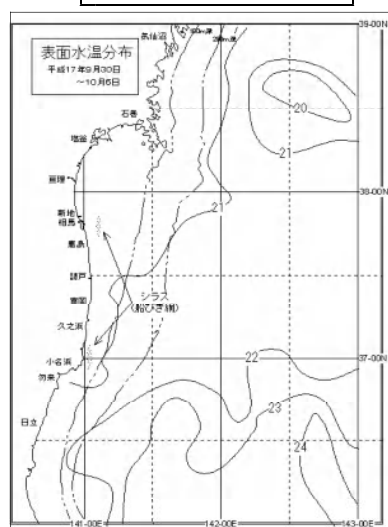
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
9/29	22.4	21.9	22.6	23.3
10/2	22.0	21.8	21.2	22.5
10/3	22.1	21.9	21.7	22.5
10/4	22.1	21.9	19.7	22.5
10/5	22.1	22.0	20.4	22.6

広野沖:37-18N, 141-27E (約40km 沖)

平成16年同期

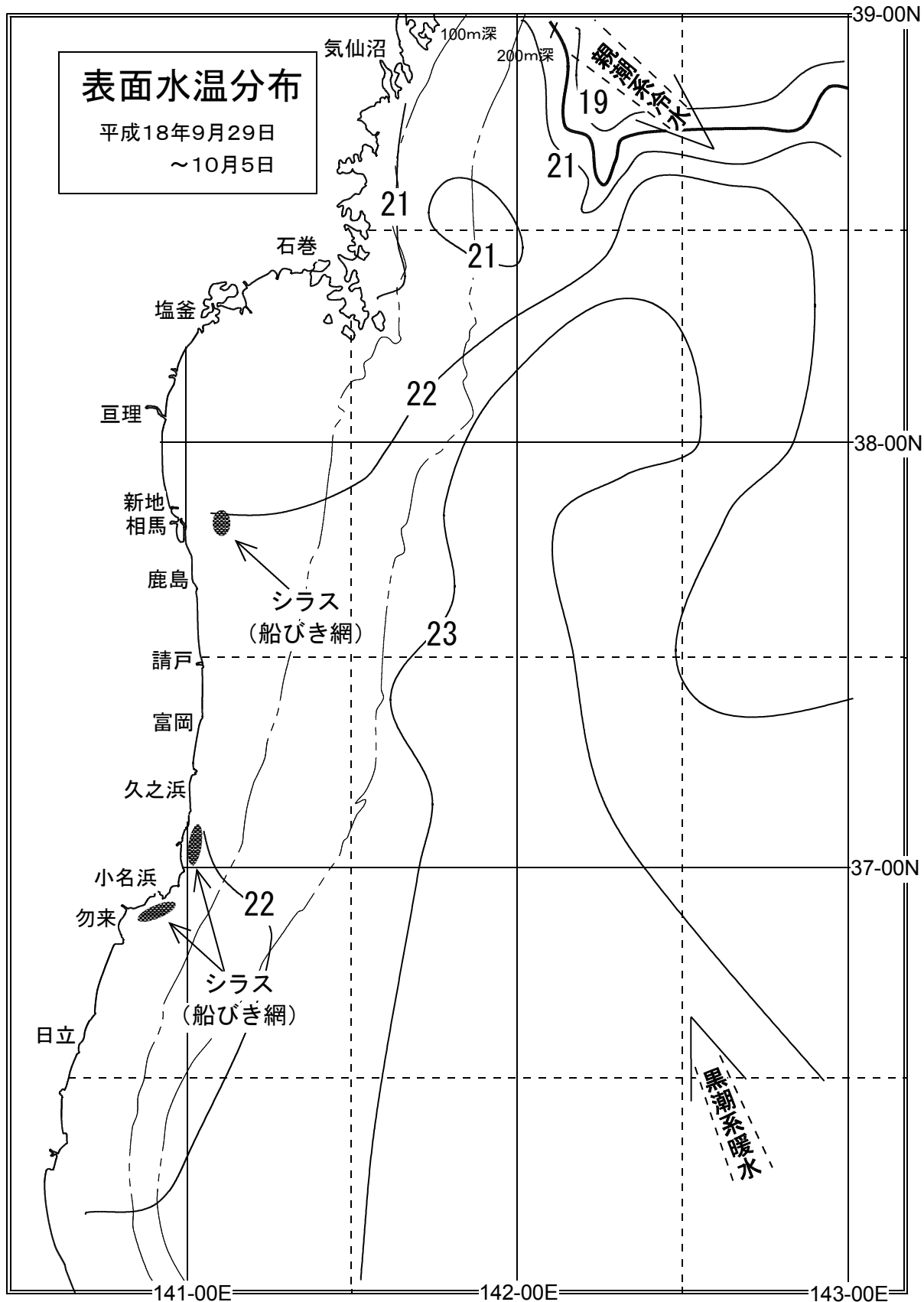


平成17年同期



表面水温分布

平成18年9月29日
~10月5日



漁海況速報

No.39

平成18年10月13日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

①県北部海域沖30~40海里に親潮由来とみられる18℃台の比較的低い水温がみられる。

②黒潮系暖水の本県沖への波及は先週より弱まり、水温の顕著な降温がみられ本県沖は広く19~20℃台が分布した。

③定地水温は、小名浜は平年より1℃高く、大熊は平年並、松川浦は平年より1℃低い。

見通し(1週間)

・黒潮、親潮系水の顕著な波及はみられず、現状並の海況で推移するでしょう。

平成18年9月の底びき網漁模様(速報値)

・底びき網の9月の水揚げ状況をお知らせします。

・総水揚げ量は973トン(対前年同月比136%)、総水揚げ金額は341百万円(同132%)で、沖合底びき網、小型底びき網とも数量、金額が増加しましたが、特に相双沖底の水揚げが大きく増加していました。

・マガレイは漁獲加入が多かったH16年生まれの成長により、数量、金額とも増加しました。ヒラメは発生水準の高いH17年生まれが漁獲加入し、数量、金額とも大きく増加しましたが、小型魚主体のため数量増ほどの金額増にはなっていません。マコガレイはH16年生まれが引き続き漁獲主体となっています。イシガレイはH16年生まれを主体に良好な漁獲が続いています。

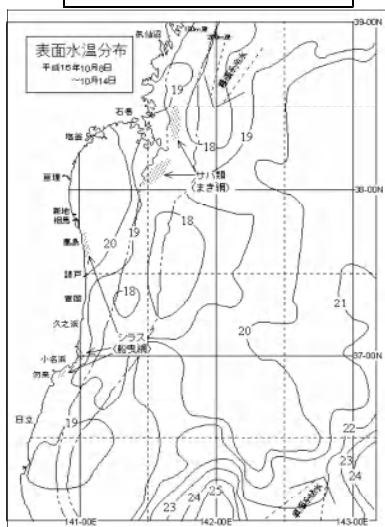
漁法別地区別水揚げ状況

		H17年9月			H18年9月		
		数量(トン)	金額(百万円)	H18/H17(%)	数量(トン)	金額(百万円)	H18/H17(%)
沖底	いわき	158	47	177	112	109	
	相双	409	165	634	155	141	
小型底びき		146	46	162	111	125	
		713	258	973	136	132	
合計		713	258	973	136	132	

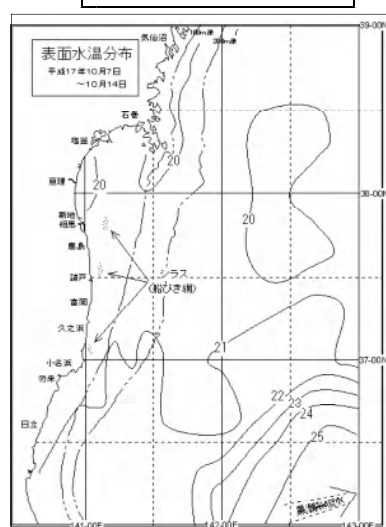
水揚げ金額上位魚種の状況

	数量(トン)			金額(百万円)		
	H17 9月	H18 9月	H18/H17 (%)	H17 9月	H18 9月	H18/H17 (%)
マガレイ	169	270	160	46	80	175
ヤナギダコ	93	168	181	25	49	192
ヒラメ	7	32	492	9	25	265
マコガレイ	34	34	101	19	24	126
イシガレイ	57	34	59	28	23	79

平成16年同期



平成17年同期



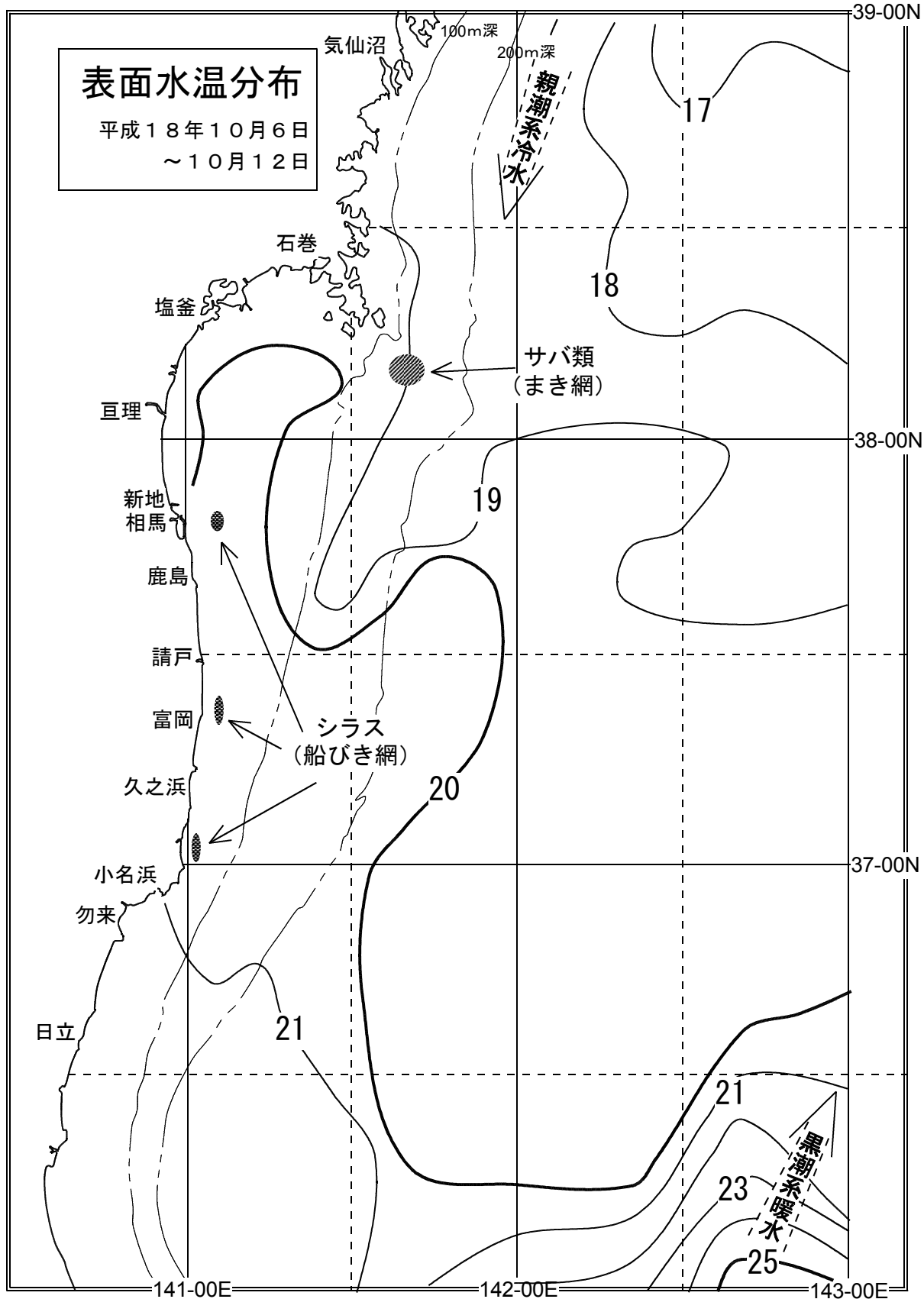
定地・定点水温の推移(℃)

場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
10/6	21.7	22.0	17.3	22.0
10/9	—	—	—	20.4
10/10	20.9	20.6	18.7	20.4
10/11	21.1	20.5	18.2	19.8
10/12	21.2	20.4	19.7	20.1

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

表面水温分布

平成18年10月6日
~10月12日



漁海況速報

No.40

平成18年10月20日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/suisan-shiken/index.htm>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンター

ほか

海況(表面)

①本県沖には目立った低水温はみられない。

②黒潮系暖水の本県沖への波及は先週並だが、勿来沖50海里付近に波及の傾向がみられる。本県沖は先週に続き広く19~20℃台が分布した。

③定地水温は、小名浜は平年より1℃高く、大熊・松川浦は平年並み。

見通し(1週間)

・本県南部海域に弱い黒潮系暖水の波及がみられるでしょう。

平成18年度東海区サバ長期漁況予報

独立行政法人水産総合センター東北区水産研究所とりまとめにより発表されました標記予報をお知らせします。

(対象海域:三陸~常磐~犬吠海域)

対象漁業:まき網

対象魚群:マサバ、ゴマサバ0歳魚(2006(平成18)年級群)、1歳魚(2005(平成17)年級群)、2歳(2004(平成16)年級群)、3歳(2003(平成15)年級群)以上。
魚体の大きさは尾叉長で表示。

—今後の見通し(2006年10月~12月)—

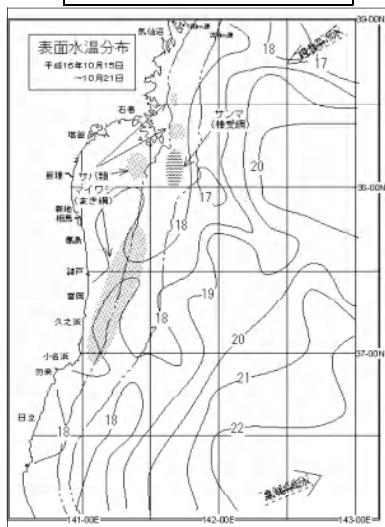
- (1)来遊量:マサバ・ゴマサバとも0歳魚及び1歳魚は前年を下回る。漁獲の主体となる2歳魚は前年を大きく上回る。3歳魚以上の漁獲は少ない。全体では前年を下回る。
- (2)漁期・漁場:主に沿岸域に滞泳するマサバ、ゴマサバ2歳魚の集群によって三陸南部~常磐海域、漁期後半ではさらに犬吠海域まで漁場が形成される。沖合からの0歳及び1歳魚の来遊は少ない。
- (3)魚体:32~33cm前後の2歳魚主体で、漁期後半には29cm以下の0及び1歳魚が混じる。

定地・定点水温の推移(℃)

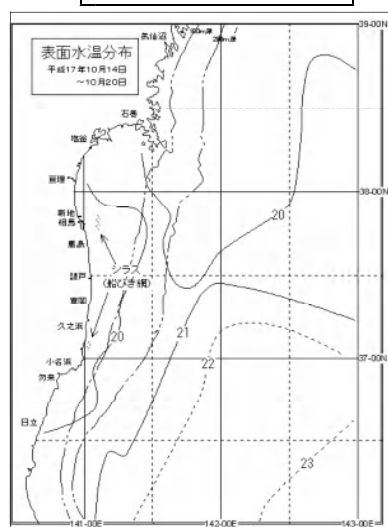
場所 月日	小 名 浜	大 熊	松 川 浦	広 野 沖
10/13	21.1	20.5	19.6	—
10/16	20.3	19.9	18.4	—
10/17	20.0	19.8	18.5	—
10/18	20.2	19.6	18.7	—
10/19	20.0	19.6	18.0	—

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

平成16年同期



平成17年同期



表面水温分布

平成18年10月13日
～10月19日

